

第36回(2007年度)日墨研修生・学生等交流計画募集のお知らせ

本年2007年度の日墨研修生・学生等交流計画(日墨交流計画)の我が国からメキシコへの留学生を下記の通り募集致します。(詳しくは、外務省ホームページ: <http://www.mofa.go.jp/mofaj/> をご覧下さい。)

日墨交流計画は、日本とメキシコ両国政府の合意に基づくユニークかつ画期的な交流計画です。

1971年の発足以来、36年間にわたり続いており、これまでに双方で合計3700名以上の研修生の交流実績があります。多くの元研修生が、メキシコ・中南米・スペイン語研究の第一人者として活躍しているほか、学術、経済、芸術、文化、医療等の幅広い分野で活躍しており、両国間、ひいては日本と中南米の交流を支える大きな力となっています。

1. コースの概要と募集人数

Aコース：スペイン語中級者～上級者：20名程度

①専攻コース(対象者：スペイン語中・上級者(学部レベル))

研修期間の前半(約6ヶ月)は、大学の外国人コースでのスペイン語習得を中心とし、後半(約6ヶ月)は、大学等で開講されている講座の聴講を行う。

②研究者コース(対象者：スペイン語上級者(大学院レベル))

大学院、研究機関等で、メキシコ、中南米に関するテーマの研究を行う。1年目の研究成果及び研修態度を踏まえ、成績優秀者については、本人の希望により1年間研修期間の延長が認められる。

Bコース：スペイン語初級者：5名程度

①特別交流コース(対象者：メキシコ及び中南米と関係のある分野を専攻する者)

大学の外国人コースでのスペイン語習得を中心としつつ、各自の関心テーマの研究を行う。

②国際的医療人材支援コース(対象者：医療の分野における中南米、メキシコとの交流、国際緊急

医療の分野に関心を有する者)

大学の外国人コースでのスペイン語習得を中心としつつ、各自の関心テーマの研究を行う。

2. 専攻・研究分野：スペイン語の他、文系、理系のあらゆる分野

3. 受入機関 メキシコ国家科学技術審議会(CONACYT)

4. 派遣期間 2008年7月末～2009年7月末(予定)

5. 待遇 (第35回[2006年度]の場合)

(1) 滞在費：月額6,827ペソ(約630USドル)

(2) 派遣・給付期間：約1年間(2007年7月末～2008年7月末(予定))

(3) 医療保険：メキシコ政府(公務員保険・社会サービス庁：ISSSTE)が原則として負担。

(4) 入学金・授業料：免除(但し年間の学費が14,000ペソを超える場合にはこの限りでない)

(5) 渡航費：東京～メキシコ・シティー間の往復航空券支給

(6) 住居の選定：原則ホームステイとし、CONACYTや大学等の協力を得ながら留学生自身が行う。

(※なお、これらの諸要件(受入機関、留学期間、待遇等)は暫定的なものであり、今後変更もあり得る。)

6. 応募資格

●日本国籍を有する者 ●健康な者

●4年制大学の学部又は大学院に在学中、又は、卒業した者、或いは、高校・短大卒で十分な職務経験を有する者。

●2007年8月1日現在で、22歳以上35歳未満の者。●メキシコに単身で渡航できる者

7. 願書締めきり 2007年9月28日(金)

(1) 一次試験 Aコース：筆記試験(西文和訳、和文西訳)

日時：2007年10月19日(金) 場所：東京及び京都の会場で実施

Bコース：書類選考

(2) 二次試験 A・Bコース：面接試験(Aコースはスペイン語の会話試験を含む)

日時：2007年12月3日(月) 場所：東京

◎本計画に関する問い合わせ◎

外務省中米課(担当：青木 TEL: 03-5501-8000 内線2494、E-MAIL: tomoko.aoki@mofa.go.jp)